

8月9月 行事予定

月	日	曜日	行事	時間	集合場所	参加費
8	2	金	フィリアホール/オープンデ-2024・ワークショップ	11:00 ~ 15:00	青葉台東急スクエア South-1 本館5F	500
	3	土	七夕まつり(流しソーメン)	11:00 ~ 14:00	レストハウス1F	500/300
	4	日	夏の昆虫観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	18	日	親子里山体験	10:00 ~ 13:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	800
	31	土	虫の声鑑賞会	18:00 ~ 21:00	レストハウス	300/100
9	7	土	秋のキノコ観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	7	土	里山保全体験(竹細工・竹とんぼで遊ぼう)	9:30 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	8	日	大池の生き物観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	14	土	子育て地蔵まつり	11:00 ~ 15:00	みなきたウォーク周辺	-
	15	日	藍の生業染め体験	10:00 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	800
	22	日	秋の昆虫観察会	9:00 ~ 12:00	レストハウス	300/100
	22	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00	円形広場	500
21	土	炭焼き(華炭作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100	

<応募方法> 行事開催10日前までに一行事ごとにHPまたは往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。ホームページ <https://tzksatokura.org/> お問合せ [tsuzuki-park@tmtv.ne.jp](mailto:tsuzuki-park@tmtv.ne.jp)



8月 2024年度 保全田畑部会予定表

日付	曜日	9時-12時	13時-17時
1	木	(G) 畑周りの草刈り (B1) 流しソーメン竹の準備	
2	金	(I-④) 流しソーメン会場の設置	
6	火	(H) バラ花壇、花柄摘み、除草、消毒、追肥	
8	木	(A1-②) 笹刈り	
12	月	(A1-②) 笹刈り	
15	木	(B1) 竹林の整備、竹細工の日、道具の整備	
20	火	(A2-①) 笹刈り	
22	木	(H) バラ花壇、花柄摘み、除草、消毒 (I-④) 児童相談所 - 竹細工	
27	火	(D) 園路周りの草刈り	
29	木	(園内) パトロール、(I-①) 部会会議	

編集記

猛暑の夏。  
都筑中央公園はまさに盛夏！夏空に蝉がジージーと大合唱です。ばじょうじ谷戸で休んで眺める真夏の風景はここが都会とは思えない空間です。あと1か月すれば、また季節は移り行き、今が生きるエネルギー一杯の季節。暑いけど楽しみたいですね。 事務局 M.Y



里山の恵



・PURE ハチミツ グラム売り1g/8円  
1びん /1800円

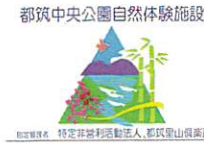


・竹細工各種 200円~300円  
・青竹材 200円/1m



・バラ炭 袋入り 750g/300円  
5Kg/1000円  
・竹酢液 濃過品 2L/500円  
蒸溜品 500ml/500円

都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の総合公園



里山便り

7月号

令和6年7月31日 第263号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸  
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8 Tel& Fax 045-941-0987

■ 田畑作業体験(ジャガイモ掘り) 7月6日(土)

多くの応募者から抽選された9家族および7名のサポーターの参加で作業が行われました。熱中症アラートが出るほどの暑い日だったので先ず暑さ対策の注意と、また春からの経過(3月初旬に植付け、4月後半に芽掻き、5月連休明けに追肥と土寄せ、その後の雑草取りなど)の説明を受け、いよいよ本番のジャガイモ掘りです。土の中から大きなジャガイモが姿を現すとひととき歓声が上がります。バケツもすぐに満杯になるので何度も運び出しました。

今年はキタアカリが植付け 8.5 kg に対して 83.5 kg と 10 倍弱のほぼ前年並み、メークインは植付け 4.5 kg に対して 31.5 kg と 7 倍ほどの結果となりました。キタアカリの種芋は大玉だったので半切りにして 60 g とちょうど効率の良いサイズだったのに対して、メークインの種芋は一個 80g そのままで少し無駄を含んだ植付けだったため必ずしも出来が悪かったのではないと思われま。

畑のまわりの草むらには生まれたばかりの小指の先ほどのカマキリやバッタも多くいて楽しい時を過ごし無事収穫を終えました。

保全田畑部会 M.S



■ 田畑作業体験(追肥と土寄せ) 7月6日(土)

年間コースと午前のジャガイモ掘りからの引き続きの計3家族、およびサポーター4名の参加で実施しました。先週の雨で急激に成長した葉・茎を傷めないように気を付けながら根本付近に追肥をして鍬で土寄せをします。サトイモは乾燥を嫌うので昨年の稲刈りの残りの藁を半分に切って敷いていきます。その後は午前中に収穫したジャガイモ畑にマリーゴールドの苗を移植する作業です。これは土壌線虫の被害を軽減するためのものでいわゆるコンパニオンプラントと呼ばれるものです。最後に畑の隅々までホースで水をたっぷりかけていきますが、水しぶきを浴びながら気持ちよく作業を終えました。

保全田畑部会 M.S



■ 夏のキノコ観察会 7月6日(土)

連日の猛暑でキノコ類の発生が危ぶまれましたが、ボランティアの事前調査で幾つかの食べられるキノコも発生していることが分りました。当日は、これ等キノコが発生している地域を中心に回りました。ヤマドリタケの仲間やイグチの仲間に加えて、黄色のタマゴタケ、キタマゴタケも見つかりました。観察対象が、これ等のキノコに向いていたためか、枯れ木に着生しているヒイロタケなどの類は、観察数が少なく、同定されたキノコは35種でした。マンネンタケのような、飾っておくのに丁度良いキノコも観察出来ました。

調査観察部会 N.K



マンネンタケ

タマゴタケ



## ■ 昆虫博士養成講座(2日間コース) 7月13日(土)14日(日)

天気予報では日曜日が雨なので、講座のスケジュールを変更しました。先ず、バナナやコップを使ったトラップを設置しました。

昼食後は、標本作成用の虫を採集しました。ナガサキアゲハのメス、大型のカブトムシのオスやノギリクワガタの雌雄も確認しました。

二日目は、雨の中でトラップを回収しましたが、トラップの設置をカラスが見ていた様で、えさが食われていました

午後は展翅標本と展足標本作りを親子で頑張りました。時間をたっぷりかけたので、どの親子さんも綺麗に仕上がっていました。

皆さん、博士課程修了証を受け取り、集合写真を撮り解散しました。終了証に記載しましたが、将来昆虫学に貢献されることを期待しています。

調査観察部会 N.K



## ■ 草木染め 7月14(土)(日)

毎年、オオブタクサを使った草木染めを行なってきたので、エリア51下の泉周辺に繁茂していたものは無くなりました。目的とした外来植物の駆除を達成できたようです。ただ、材料調達に困ることに。嬉しい悲鳴ですが・・・なんとか調達できましたが、今後は対象を再考する必要が出てきたようです。

各地で梅雨明け前の大雨が降っているようで、この日ははっきりしない天気でした。

しかし、ばじょうじ谷戸休憩者の屋根の下を使わせて頂き、20人の参加者が集まって、草木染め体験を楽しんでもらいました。



草採集



今年の生地はタオル地ではないハンカチサイズを使用しました。染め上がりの色具合はタオル地と差はありませんが、使い勝手を考えるとこれまでのタオル地の方が良いかもしれません。

参加者それぞれに絞りをに入れて染めたので個性ある作品が完成しました。また、シルクのストールも染めた参加者もあり綺麗な薄いグリーンに染め上がりました。

親子自然体験部会 T.H



## ■ 炭焼き 7月の活動/イベント

従来の華炭焼きに加えて、竹の皮を使った籠編みに会員の皆で挑戦しました。初めての試みです。

### ※「華炭作」



### ※「竹皮で籠編み」



### ※「筍の成長観察」

2022年から3年間にわたって、春期に月1回のペースで実施してきた観察実験シリーズの最終回。'24年度の観察項目:長さ(高さ)、節の数、枝の生え方など結果のまとめは次号で!(予定)



切り倒して長さを計測

節の数をカウント中

### ※「のすぽっと じもとくらふと」

ノースポット・モール地下1階「竹炭の風鈴と竹細工」

参加者:親子約50組、70名で大盛況でした。  
・風鈴・カエルのカスタネットの組立てと色付け  
・カエルのカスタネットブンブンごまの色付けと遊び方の指導



### ※夏休みボランティア体験

「はあと de ボランティア 2024」

都筑中央公園内  
(主催/つづき MY プラザ・都筑区青少年指導員連絡協議会)

テーマ/～竹林の整備と間伐材の有効利用～

- ① 竹の間伐、カット、枝払い(以上、実技体験)、チップ処理(見学)
- ② 間伐材を使って竹ピラミッド(遊具)の組立ての2つを体験

今年度は猛暑で1名(高1)の参加にとどまりましたが、2つの作業を会員と一緒にボランティア体験をしていただきました。この体験を通して里山の自然環境保全の意義と循環型社会の大切さも知ってもらいました。本人曰く、「また、来年もきます。」



切り方講習



完成